

第3学年英語科学習指導案

1 単元名 Unit 6 20th Century Greats (NEW HORIZON English Course Book 3)

2 単元について

教材観

本単元は、20世紀の偉人、特にレイチェル・カーソンに焦点を当てた題材となっている。環境問題に目を向けさせ、その問題提起をした草分け的存在であるレイチェル・カーソンについて知ることとはとても重要であると思われる。内容としては、「絵美が英語の時間に人物についてレポートを書くという課題をもらい、人物事典を読んで、伝記から情報を書き出す」という形になっている。そのため、得た情報や知っている情報をまとめてレポートを書くという課題に取り組みせるのに適した教材だと考える。

言語材料としては接触節や関係代名詞を取り扱う。この文型を習得することによって、相手に自分のもっている情報などを、詳しく説明できるようになると思われる。

生徒観

7月に行った英語に関する意識調査で、「英語の授業がよく分かる。」「だいたい分かる」と答えた生徒は60%、「ほとんど分からない」と答えた生徒は17%であった。生徒たちは、授業中お互いに教え合い、積極的に活動することができる。どんな活動が好きかという設問に関しては、「英語を聞いたり、話したりすることは好き」、「どちらかといえば好き」が36%、「英文の内容を読み取ることが好き」、「どちらかといえば好き」が40%であるのに対して、「自分が伝えたいことを英文で書くことが好き」、「どちらかといえば好き」は13%である。この結果から、書く活動に関しては全体的に苦手意識が強いことが分かる。また、生徒の英作文の内容を見ると、実際に行った事実に関しては書いているが、自分の感想や説明を加えることができていることが分かる。

そこで、ライティングノートを使い、文型や接続詞を使うことを指定して書かせたり、一度書いた文に「英作文のコツ」を参考に感想や説明を付け加えさせたりする活動を行ってきた。「英作文のコツ」を使って、自分の文を確認することで、より表現の幅が広がっているように思われる。また、他の生徒の作品を読むことで、自分の意見や感想を加えていくコツを習得してきている。

指導観

本単元では、接触節や関係代名詞など生徒が複雑で難しいと感じやすい内容を導入する。そのため、接触節や関係代名詞などの文の形や意味・用法については、身近な人や物を説明する作文活動やペアワークを通して楽しみながら身に付けさせたい。そして、書くことで自分自身の理解度を確認する機会を与えていきたい。また、読解については、オーラル・イントロダクションを取り入れ、事前に概要を理解させたうえで意味の詳細をつかませていく。

ライティング活動では、新出文型を使った文に、「英作文のコツ」でこれまでの学習を振り返りながら感想や説明文を加えさせる。完成した文章と最初に書いた文を比べたり、友達の書いた文に触れたりすることで、より分かりやすい文章にするには何が必要かを考えさせたい。

3 単元の目標

- (1) 間違いを恐れず、英語で自分の考えなどを書いている。
- (2) 接触節、関係代名詞の文の形・意味・用法を理解し、それを使って表現できる。
- (3) レイチェル・カーソンの業績や生涯について読み取ることができる。

4 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	1 間違いを恐れず，自分の感想や意見などを書いている。
イ 表現の能力	1 本文概要を述べた空所を適語で埋めることができる。 2 接触節を用いて，文のつながりを考えた人や物を説明するレポートを書くことができる。
ウ 理解の能力	1 本文の概要を正しく読み取ることができる。
エ 言語や文化についての知識・理解	1 接触節を含んだ文や関係代名詞を使った英文の形・意味・用法を理解している。

5 単元の指導計画（全7時間）

	学習活動	教師の指導・支援	評価規準と評価方法
1	20世紀の偉人たちに興味関心をもつ。 接触節の形・意味・用法を理解し，表現する。	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の写真を利用しながら，内容を理解させる。 ペアワークで多くの文に触れさせ，その文をライティングノートに書かせる。 	ウ 1【観察・ノート】 エ 1【ワークシート・ノート】
2	レイチェル・カーソンについて知る。 関係代名詞 who を使った文の形・意味・用法を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ペアでの音読活動を通して，口語表現への理解を図る。 ワークシートに友達（宇宙人）紹介の文を書かせ，次時の活動へとつなげる。 	ウ 1【観察・ノート】 エ 1【ワークシート・ノート】
3 本時	友達（宇宙人）についてのレポートを書く。	<ul style="list-style-type: none"> 前時の作文を，「英作文のコツ」などを利用しながら，説明や感想を書かせる。 	ア 1【観察・ワークシート】 イ 2【ワークシート】
4 ・ 5	カーソンの業績について知る。 関係代名詞 that [which]（主格）を使った文の形・意味・用法を理解できる。	<ul style="list-style-type: none"> オーラル・イントロダクションを通して，概略をつかませた後，内容理解を促す。 ライティングノートに関係代名詞 who を使った文を書かせた後，違いを意識させながら取り扱う。 	ウ 1【観察・ノート】 エ 1【ワークシート・ノート】
6	カーソンの生涯について詳しく知る。 関係代名詞 that（目的格）を使った文の形・意味・用法を理解できる。	<ul style="list-style-type: none"> オーラル・イントロダクションを通して，概略をつかませた後，内容理解を促す。 接触節との違いに触れ，理解を深める。 	ウ 1【観察・ノート】 エ 1【ワークシート・ノート】
7	本文内容と単元の新出文型の復習を行う。	<ul style="list-style-type: none"> Your Turn を使い，全文要約を完成させ，本文内容の確認をさせる。 Unit 6 で学習した文型を使い，作文活動を行う。 	イ 1【観察・ノート】

6 本時の目標

- (1) 間違いを恐れず分かりやすく書こうとする。(関心・意欲・態度)
- (2) 宇宙人について、分かりやすく説明し、感想を述べるができる。(表現)

7 本時の展開(3/7)

	学習活動	教師の指導・支援		評価規準と評価方法
		T 1 [J T E]	T 2 [A L T]	
導 入	1 あいさつをする。			
	2 ワークシートを使い、前時の復習をする。 3 例文の内容を理解し、本時の目標を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 何度も音読をさせる。 ・ 見通しをもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時のワークシートに文を加えた例文を紹介する。 	
英語でより詳しく宇宙人の友達を説明し、また感想を伝えよう。				
展 開	4 使える表現や考え方を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「英作文のコツ」を参考にしながら、例文の内容を確認させる。 		
	5 ワークシートに説明を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 机間指導をしながら、形や色などの様子や感想などを付け加えるようにアドバイスをする。 ・ 「英作文のコツ」を参考にし、多くの文を書くように励ます。 		ア 1【ワークシート】 イ 2【ワークシート】
	6 各グループから一つ作品を選ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読んだときに頭の中に具体的なイメージが浮かぶものを選ぶように指示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英文をチェックしアドバイスする。 	ア 1【観察】
	7 推薦する作品を選んだ理由について、グループで話し合っ書ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 書き終わったら発表練習をするように伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英訳のアドバイスをやる。 	イ 2【ワークシート】
	8 宇宙人の説明とそれを選んだ理由を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表者の声が小さい場合は、繰り返し発音し理解の助けとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表を聞き、どの絵の紹介か推測する。コメントを加える。 	ア 1【観察】
終 末	9 自己評価を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今日の活動について自己評価を行わせ、振り返りをさせる。 		
	10 あいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予習の内容を伝える。 		